

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	火災予防推進事業		
事業担当	消防本部 予防課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'01	1 安全に対する意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
災害発生の未然防止及び被害の軽減を目的とします。		市民の防火意識を高め、火災を未然に防止するため、防火キャンペーン等を実施し、住宅用火災警報器の設置促進のための広報活動を実施します。また、少年消防クラブの活動を充実し、少年・少女の防火意識の向上を図ります。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	火災予防パンフレット等配布部数			単位	部
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	3000	2500	2000	2000	
	実績	3000	2500	2500		
活動指標②	指標名	各種イベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	5	3	3	3	
	実績	9	3	3		
成果指標①	指標名	火災発生件数(年間)			単位	件
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	100	90	85	85	
	実績	80	102	80		
成果指標②	指標名	各種イベント参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	2500	1500	1500	1500	
	実績	5000	2000	2000		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
火災予防運動や防火キャンペーンで啓発活動を行いました。住宅用火災警報器の設置促進のため、住宅密集地等の住宅を個別訪問し、設置及び維持管理を指導しました。年間計画に基づき少年消防クラブの活動を実施し、少年・少女の防火意識の向上を図りました。						
平成24年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	事業の目的を達成するため、市が主体となり継続して実施する必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民の防火意識を高め、火災を未然に防止するために、春季・秋季全国火災予防運動に合わせ、防火キャンペーン等を実施することにより成果が向上します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	火災を未然に防止するため、市民や事業所と連携して事業を推進することが重要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	少年消防クラブ活動の一環としてクラブ員がキャンペーン等に参加することで、啓発活動の効率が向上します。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 平成24年度に発足した少年消防クラブの活動を充実させ、子どもの言葉で火災予防の必要性を伝えます。また、住宅用火災警報器の普及促進と維持管理のため啓発活動を継続し、より効果的な広報活動を検討します。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		イベント実施、パンフレット作成・配布、住宅用火災警報器の設置促進	イベント実施、パンフレット作成・配布、住宅用火災警報器の設置促進	イベントの実施、パンフレットの配布、警報器の設置促進、クラブ設立	イベント実施、パンフレット配布、警報器設置促進、クラブ活動の充実
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	2,959	2,923	993	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	300	0
	一般財源	136	63	68	152
事業費 (A)		3,095	2,986	1,361	152
執行率 (%)		90.60	78.35	37.23	
内訳	職員 (人)	2.00	1.65	1.30	1.20
	再任用 (人)	0.00	0.15	0.00	0.00
人件費 (B)		16,518	13,876	10,420	9,538
フルコスト (A+B)		19,613	16,862	11,781	9,690

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成26年度の取組方針</b> 春季・秋季全国火災予防運動を中心に防火キャンペーン等を実施し、市民の防火意識を高めるとともに、少年消防クラブ活動の一環としてクラブ員がキャンペーン等に参加し、子どもの言葉で防火を呼びかけることで、啓発活動の効率化を図ります。
<b>課長コメント</b> 住宅火災による被害や死傷者の撲滅を目指し、住宅用火災警報器の設置と維持管理の促進を継続します。防火キャンペーン等の広報活動に少年消防クラブ員が参加する取組みは初めてのことですが、子供の言葉で大人の責任を訴え、同年代の子どもに火災予防の大切さを伝えることが出来ます。